



熊本市立大江小学校

# ときめき

2022.12.7(水)

No.120



文責  
松永

## 修学旅行を前に、講話を聴きました



6年生は、明日8日(木)から一泊二日で、長崎方面に修学旅行に出かけます。

一日目は平和祈念公園や原爆資料館の見学など、平和学習に取り組みます。これまで調べ学習に取り組むなど、事前学習を進めてきています。その一環として、5日(月)にゲストティーチャーとして、「被爆二世・三世の会」の会長である青木 栄さんに来校していただき

お話を聴く機会を設けました。現在も引き取りがたい遺骨がたくさんあることや被爆を体験された方がなかなか体験談を話そうとされなかったことなど、子どもたちは真剣に聞いていました。被爆者の方の中には、生きていく中で被爆者であることを隠してこられた方も多かったと聞いています。原爆投下から長い年月が経った今でも、病に倒れる方も多く、今でも体調不良が続いている方もおられます。まだ終わっていないのです。青木さんからは、高校生の時、長崎で被爆されたお父様から聴かれた話もしてもらいました。8月9日、長崎港近くで荷下ろしの手伝いをしてひと休みしている時だったそうです。ものすごい爆風で海の中に落下し、足を骨折していたために自力で陸に上がることができず、数時間後にやっと救助されたそうです。その後、病院に運ばれたということでした。でも、お父様が息子さんである青木さんにその体験談を話されたのは亡くなる2年ほど前だったそうです。「あまりにも辛い経験だったからでしょうか。救助された時の様子など、もう少し聞かせてほしいと頼んでも、なかなか口を開いてはくれませんでした。」と青木さん。お父様以外にも、被爆体験の話をたくさんの方から聞かれたそうですが、夜中にうなされたり長崎の町に行くことを躊躇されたりする方もおられるそうです。そうした体験をされた方々も、長い年月が過ぎて亡くなる方も多いそうです。だからこそ、伝える役目をしないと…と、青木さんは考えられ、紙芝居の作成などの活動をされているそうです。あまりにも辛い経験ゆえに話せない人も、その時のことを思い出したくない人も、そうした人の思いも感じながら、現地での学習をしてきてほしいとも話されました。



## 鶴を折っていました!



6年生の教室では折った鶴をつなげる作業をしていました。できた折り鶴を色別に分けながら、コツコツ取り組んでいました。



## 手洗い・うがいをこまめにするようにしましょう!

ここ数日の欠席の連絡に、胃腸炎の症状や吐き気がすると言う理由が多くなっています。新型コロナウイルス感染もまだまだ油断できない状況です。自分の健康を自分で守るためには、今まで取り組んできた感染対策を続けていくことが大切だと思います。特に、寒くなって水が冷たく感じられるようになってくると、手洗いやうがいの時間が短くなっていませんか?それではダメですね!ご家庭でも、外から帰ってからの手洗い・うがいを忘れないように声かけをお願いします。

## 安全に気を付けて登下校するようにしてください!

寒くなってポケットに手を入れたり、袖口で手を覆ったりして歩いている様子を見かけます。いざという時にすぐに出せるようにしましょう。

